

令和7年度 学びの充実あと押し事業
アセスメントツールを活用し児童理解、授業改善に役立てる

実践内容

【LITALICOの活用】

私たちは肯定的な子ども観をもって子ども達と関わるための児童理解の一助とするべく、その効果的なアセスメントツール（シート）としてのLITALICO学びプランの活用を試みた。

(左は入力開始の画面)



【先進校から学んで実践】

LITALICOを活用している学校の先生を講師として招き、シートの作成から活用までを学んだ。

作成後、そのシートを真ん中において複数の職員で見合いながら、その児童についての意見交換と共有を行った。誰もが同じ手順を踏んでシートを作成しているの、さまざまな方向から助言やアドバイスを交換することが容易にできた。



【手応え】

シート作成のために様々な質問に回答することでその児童にアプローチできる。

その回答をもとにできあがったシートを見ると、児童の課題となっている部分がグラフや表で可視化され、誰が見ても客観的に把握できた。あわせてその子にあった指導法や身に付けるべきスキルトレーニングが提案されるので、授業改善やその子の学びに生かすことができる。



成果と課題

◆成果として

- ・シート作成のための質問項目が多岐にわたっているため、事実を基にもれなくきめ細やかに、**だれでも**作成可能。同じ項目を保護者に回答いただくと、職員の見方と保護者の見方とを比較することもできる。
- ・課題や困り感が可視化されるので、シートを真ん中にして様々な職員で意見交換、共有が可能。多くの職員がこのよさを実感。
- ・大勢で見ることができるので、作成者がひとりで抱え込むことがない。
- ・提案された教材やおすすめ動画を活用することで、授業改善につながる。

◆課題として

- ・シート作成のための質問項目の多さ。
- ・提案された教材の授業場面での位置づけの難しさ。